



日本アイ・ビー・エム株式会社
常務執行役員 システム製品事業本部長

武藤 和博氏

平山 武司氏

ユーオス・グループ 監事 前・理事長
株式会社ニッポンダイナミックシステムズ
代表取締役社長

POWER UP ソリューションフェア 2014

スペシャル対談

IBMとUOSのコラボレーションにより 中堅中小ユーザーの IT 戦略支援へ

ユーオス・グループ（以下、UOS）が11月に開催する「POWER UP ソリューションフェア 2014」（通称、関東 UOS フェア）。多彩なソリューションが一堂に会するこのイベントを前に、ユーザーを取り巻く IT 環境の現状と、IBM & UOS のコラボレーションの重要性を語り合う。

CAMSS に代表される IT トrendを 自社の経営戦略にどう位置付けるか

武藤 今年8月にシステム製品事業本部長として着任し、久しぶりにハードウェア製品の統括部門に戻って、とてもワクワクして

いるところです。IBMのシステム製品はメインフレームやPower Systems、ストレージとありますが、最近は成長戦略分野として新たにCAMSSという軸が加わりました。クラウド、アナリティクス、モバイル、ソーシャル、セキュリティと新たなIT活用を実現する上で、IBMのシステム製品がいかに強力で、経営戦略に

資する強固かつ柔軟なハードウェア基盤であるかをお客様やビジネスパートナーの方々に強くメッセージしていきたいと考えています。

平山 IBMは最先端の素晴らしい技術や製品を提供しており、今、ITの未来像や将来コンセプトをトータルに描ける世界で唯一のIT企業と言っても過言ではありません。ただビジネスパートナーの側からIBMへ望むのは、もっとコンピュータメーカーであることを強く訴えてほしいということです。お客様に、「IBMのシステム製品を使っていれば間違いない、安心だ」と思っていたために、またビジネスパートナーである我々が、今以上に自分たちのビジネスに自信を深めるためにも、ぜひお願いしたい点です。

武藤 IBMの研究開発費は年間6000億円で、その約半分がハードウェア投資に費やされています。加えて事業の買収や譲渡も含め、常に高付加価値のシステム製品を提供することは、IBMにとって重要かつ一貫したコミットメントであり、非常に力を入れています。POWER8プロセッサがいかに優れているかをお伝えしつつ、それがお客様の経営戦略やIT戦略にストレートにどうお役に立つかという観点で価値の提言が必要だと感じています。またIBMの製品をもっと身近に感じていただき、もっと気軽に使っていただくために、お客様の最も近くにおられるUOSの方々とのコラボレーションを強化し、お力を借りていかなければなりません。

平山 UOSのビジネスパートナーやISVの大半は、中堅中小企業のお客様に対するIT支援が中心ですから、その方々へIBMの方向性やメッセージをわかりやすくお伝えすることは、UOSの重要な使命です。中堅中小企業のお客様はCAMSSをITトレンドとして理解され、それらが象徴するソリューション領域に関心を抱いておられますが、その一方で「決められない」「迷っている」のも事実です。ITトレンドとしてはわかるけれど、それでは自社の業務にどういう価値をもたらすのか、経営戦略にどう位置付けていくのか、具体的な青写真を描くのがなかなか難しい状況です。

武藤 そうですね。IBMとしても、それらの手がかりやヒントをご提供する場をできるだけ多く作ろうと努力しています。たとえば現行のインフラ環境を可視化し、診断することで、より最適化した導入をご支援する「Smarter Computing Workshop」とか、現行のIT環境をクラウド化した場合を想定して分析するセッ

ションをご用意するとか。また東京・晴海事業所には仮想アプリケーションセンターを設置し、ISV様のアプリケーションを仮想アプリケーション環境で検証し、気軽にお使いいただけるような場をご提供しています。ただいずれの場合も、ビジネスパートナー様とのコラボレーションあってこそ、お客様へ価値をお届けできるサービスだと思っています。

IBMは大学病院、UOSはホームドクター 密に連携しながらユーザーの課題解決へ

平山 私は、IBMは大学病院、UOSの会員企業はホームドクターだと思っています。風邪を引いたとか、お腹が痛い時は、大学病院ではなく、まずホームドクターを受診するでしょう。それと同じで、UOSはお客様の身近にいて、どんな小さなことでもいつでも相談にのる存在。お客様の業務や運用環境に最適な、つまり身の丈に合ったソリューションをご提案し、ご支援するのがUOSメンバーの役割です。ただホームドクターにとっても、先進





的な医療機器や治療技術を備える大学病院の存在が不可欠ですから、UOSとIBMのコラボレーションをもっと深めていくことが重要ですね。

武藤 11月28日に開催される関東UOSフェアは、そうしたホームドクターの実力を知る貴重な場になりそうですね。さまざまなお客様が足を運ばれるようIBMとしてもご協力すると同時に、私たちの世代が抱えているUOSへの愛着というか熱い思いを、IBMの若い世代へつなげる意味でも、ぜひIBM社員にも足を運ぶように参加を促したいですね。

平山 期待しています。関東UOSフェアでは、中堅中小のお客様に最適なソリューションと最新テクノロジーが一堂に会します。多くの方々にUOSのソリューションに触れていただくとともに、私たちがどういう会社で、どのような考えでソリューションやサービスをご提供しているのかを知っていただく絶好の機会だとも考えています。できるだけ多くの方々に、ぜひ足をお運びいただきたいと願っています。❶

POWER UP ソリューションフェア 2014

～ お客様の成長戦略を支える先端ソリューションが一堂に ～



特別講演：杉尾秀哉氏
TBSテレビ報道局キャスター



基調講演：吉崎敏文氏
日本アイ・ビー・エム 執行役員
スマーターシティ事業担当

セッション：20セッション
展示：48ブース
日時：2014年11月28日(金)

展示：10:30～18:00
セッション：11:00～17:30
会場：秋葉原UDX 4F
主催：ユーオスグループ関東支部
協賛：日本アイ・ビー・エム株式会社
愛徳会
BOEコンソーシアム
参加費：無料
申込：http://www.uos.jp/kantou2014/

CAMSS を中心に過去最大の展示・セッション



富田育弘
ユーオス・グループ関東支部
製品協業委員会 委員長

今回のフェアは、「お客様の成長戦略を支える先端ソリューション」をキーワードに、参加各社の先進的な取り組みをご紹介します場としました。20のセッション、48の展示ブースという規模は過去最大で、中堅・中小企業のお客様の業務課題の解決に役立つ多様なITソリューションを、一挙に、そして間近に、ご確認ください。

今回の特徴は、クラウド関連が48ブース中10ブース、

モバイルが5ブース、アナリティクス4ブース、セキュリティ2ブース、そして情報共有ブースと、「CAMSS」関連の展示が一挙に増えたことです。またセッションでも、クラウドが20のうち4セッションを占めるなど、同様の傾向が見られます。

CAMSSという大きなトレンドの中で、自社の業務を伸ばすITソリューションは何かを、お客様ご自身の目と耳で体感していただきたいと思います。